
A-Bone、チャイナユニコムへの接続サービス開始

2000年5月16日

株式会社アジア・インターネット・ホールディング

株式会社アジア・インターネット・ホールディング(以下AIH、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 幸一)は、AIHが運営する「A-Bone」(*)を通じ、2000年5月15日よりチャイナユニコム(本社：中国 北京)への接続サービスを開始致しました。接続帯域は2Mbpsです。

チャイナユニコムは1994年7月に設立された、中国で第二の規模を誇る総合通信事業者です。その事業規模はサービス開始以来急速な拡大を続けており、今回初の海外ネットワークとの接続となる「A-Bone」への接続は、アジア各国へのダイレクトアクセスを可能にする「A-Bone」のサービスが高く評価され、実現致しました。

今回のサービス開始に伴い、「A-Bone」の対中国回線は従来の2Mbpsから合計4Mbpsへの増強となります。A-Boneは、今後ともアジア最大のインターネット基幹インフラとしてネットワークの増強、拡大を続け、同地域の新しい情報化時代を支えていきます。

(*)AIHが構築・運営するアジア太平洋地域のインターネット網。大容量・高速回線でアジア各国をダイレクトに接続している。

以上
